

ライフ・イノベーション分野
総合特別区域評価・調査検討会における評価結果

令和5年度

みえライフイノベーション総合特区

[指定：平成24年7月、認定：平成24年11月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(4+4.8)/2=4.4$

4.4

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	ヘルスケア分野におけるデータ、デジタル技術を活用した取組	75%	3
2	ヘルスケア分野の製品・サービスの増加	88%	4
3	ヘルスケア産業の振興	91%	4
4	ヘルスケア分野企業(第2創業含む。)及び研究機関の立地件数(累計)	102%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 1 + 4 \times 2 + 3 \times 1 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 4 = 4$

4.0

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標○は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.8

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(4+3+4)/3=3.7$

3.7

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

4.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.0

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.0

- ・医療情報データベースの活用と製品開発の進捗はやや低調であるが、企業と研究機関の立地は伸びているので、今後のマッチングが期待される。
- ・一定の成果は得られていると思われるが、認定時期(平成24年11月30日)を考えると、本特区構想の「画期的な医薬品や医療機器、生活支援機器などの福祉機器、健康づくりに資する機器、高機能食品など……」について具体的な成果が示されることを期待したい。
- ・MieLIPにおける研究開発支援の活動が活発である。データベースの活用の進捗が期待される。
- ・指標によりばらつきはあるが、全体として高い実績を上げていると評価できる。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.0

総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算 $(4.4+3.7+4 \times 2) \div 4 = 4$

4.0

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5～1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。